

ササキデンタルアカデミー

SASAKI DENTAL ACADEMY Vol.6



Discovery 真実の臨床への旅

歯科臨床の各分野における巨匠8名によるセミナー

全10回 2022年 4月10日(日)～2023年 1月15日(日)

教頭
Dr.行田 克則



校長
Dr.寺西 邦彦



実行委員長
Dr.竹下 賢仁

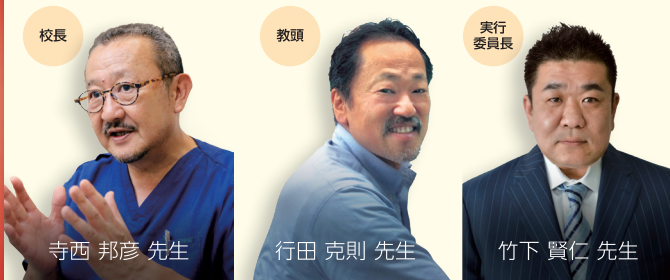


現在、歯科医療を取り巻く環境は決して良好とはいえないのが現状でしょう。また、多くの患者さんが的確に治療を行える(治せる)ドクターを求めているのも事実です。歯科臨床は多様で、臨床経験の少ない歯科医においては、的確に治せるドクターを目指すのは容易なことではありません。そこで本研修においては、歯科臨床各分野における巨匠といわれる先生方に、歯科臨床の多様性そして「匠の臨床」について解説いただき、若い先生方の見識を広めてもらいたいと考えております。

セミナー内容のご紹介

第1回 2022年4月10日(日) 開校式

これからの歯科医師に求められるもの、 診査・診断・治療計画立案



種々の問題を抱えた患者さんが来院された場合、歯科医師はそれらの問題を解決し、長期にわたってそれが維持されるように治療そしてメンテナンスを行っていかねばなりません。そのためには、主訴を含めた多くの問題の原因を究明し、治療する必要があるわけで、総合的な診査、診断そして治療計画の立案は不可欠なものです。本コースにおいては、予防、治療、メンテナンスといった歯科臨床のフィロソフィーと診査、診断、治療計画の実践に関して研修を行っていききたいと思います。

第2回 2022年5月8日(日)

臨床歯内療法の実践 —患者利益のためにしなければならないこと—



我々臨床家のゴールは、術者の自己満足のためではなく、患者のためのものになるために設定されなければならない。「根管治療」の相談をよく受けるが、種々の誤解が混乱を招いているようである。このセミナーではこれらの情報を整理する。

第3回 2022年6月12日(日)

歯周病・インプラントにおける ティッシュマネージメント



歯周病やインプラント治療では、歯周組織の基礎的背景を理解したうえで、ティッシュマネージメントを実施することが重要である。そこで本講演では、症例を提示しながらテクニックとその理論背景について解説する。

第4回 2022年7月10日(日)

ダイレクトボンディングのボーダーと オールセラミックス修復 —クラウンにする前にやるべき事—



ダイレクトボンディングは、最新の材料や器材を使ったからといって患者に満足と感動を与えられるとは限らない。術後の結果は術者の技量に100%左右されるが、自身の技量の向上がボーダーの拡大にもつながる。しかし昨今の紙面において、補綴的視点からするダイレクトのボーダーを超えたケースを拝見することが多い。そこで今回「ダイレクトボンディングのボーダーとオールセラミックス修復」と題し、補綴的視点から見たダイレクトのボーダーを明確にし、その後のオールセラミックス修復へのアプローチをどのように考えるべきかお話ししたいと思います。

第5回 2022年8月21日(日)

5年以上経過した症例で語ろう 新しい歯周治療法で行う補綴治療



歯肉を健康な状態に保つためには上皮性付着の働きは無視できない、にもかかわらずその臨床的意義はほとんど知られていない、本講演では上皮性付着を正しく扱うことで達成できるセルフクリーニングの補綴治療について解説する。

期間 (全10回) 2022年 4月10日(日)～2023年 1月15日(日)

開催地 東京支店セミナールーム【予定】

セミナー日時 各回コース 10:00～16:00

定員 20名 定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加費 35万円(消費税込) ※お一人様、10回コース

参加対象 基本はすべてのコースに、
ご参加が可能な(開業医・勤務医)とさせていただきます。



第6回 2022年 9月11日(日)

リムーバブル・デンチャー



寺西 邦彦 先生

欠損補綴イコール、インプラントといった考えが一般的になってきた感は否めないが、リムーバブル・デンチャーすなわち、総義歯、部分床義歯、オーバーデンチャー、そしてインプラント・オーバーデンチャーにはそれらの長所も多岐にわたる。先人たちが確立してきたそれらの理論はインプラント補綴においても不可欠な理論といえるだろう。本コースにおいては、欠損補綴全般に対する考え方、良好に機能するパーシャルデンチャーそして総義歯調整法について解説を加えていきたい。

第7回 2022年 10月16日(日)

一般臨床医が取り組む部分矯正



川崎 宏一郎 先生

部分矯正で病的に移動した歯牙を本来の位置に移動できれば、後処置の予知性は格段に向上する。本セミナーでは部分矯正をこれからの臨床に取り入れるためのセオリーを一般臨床医の視点で解説する。

第8回 2022年 11月13日(日)

永続性あるインプラント補綴を目指そう



竹下 賢仁 先生

開業医であれば30～40年程度、患者口腔内を管理しなければならない。インプラント治療において、診査・診断・外科手技は大切であるが、最も大切なのは上部構造装着様式を含めた補綴手技と考える。経営を考えて行うインプラント治療ではなく、欠損補綴の一つの治療法としての永続性のあるインプラント補綴を考えてみたいと思う。

第9回 2022年 12月11日(日)

歯科用光学型印象型 CAD/CAMの到達点



小池 軍平 先生

歯科用CAD/CAMの歯科への導入はここ10年を境に、保存補綴分野ばかりでなく、複合的に用いられるようになった。一部保険適応になり、一般保険医にも身近な存在になった。今回わたしは最新のCAD/CAMの種類を大別し、光学式CAD/CAMの到達点と、その修復物を最新材料とともに、臨床症例で供覧したい。

第10回 2023年 1月15日(日) 修了式

講師全員

受講生の症例発表 及び 講師陣の失敗症例を含めた長期症例のケースプレゼンテーション

- 第1回、第10回は講義終了後それぞれ開校式、修了式がございます。
- 各回、受講生2名ほどの症例発表及び症例相談を予定しております。

新型コロナウイルス感染拡大により、各回をWEBセミナーに変更する可能性もございます。

ササキデンタルアカデミー セミナースケジュール

回数	開催日	講師	演題
第1回 開校式	2022年 4月10日(日)	寺西 邦彦 先生 行田 克則 先生 竹下 賢仁 先生	これからの歯科医師に求められるもの、診査・診断・治療計画立案
第2回	2022年 5月 8日(日)	石井 宏 先生	臨床歯内療法の実践 -患者利益のためにしなければならないこと-
第3回	2022年 6月12日(日)	児玉 利朗 先生	歯周病・インプラントにおけるティッシュマネージメント
第4回	2022年 7月10日(日)	青島 徹児 先生	ダイレクトボンディングのボーダーとオールセラミックス修復 -クラウンにする前にやるべき事-
第5回	2022年 8月21日(日)	行田 克則 先生	5年以上経過した症例で語ろう 新しい歯周治療法で行う補綴治療
第6回	2022年 9月11日(日)	寺西 邦彦 先生	リムーバブル・デンチャー
第7回	2022年10月16日(日)	川崎 宏一郎 先生	一般臨床医が取り組む部分矯正
第8回	2022年11月13日(日)	竹下 賢仁 先生	永続性あるインプラント補綴を目指そう
第9回	2022年12月11日(日)	小池 軍平 先生	歯科用光学型印象型CAD/CAMの到達点
第10回 修了式	2023年 1月15日(日)	講師全員	受講生の症例発表 及び 講師陣の失敗症例を含めた長期症例のケースプレゼンテーション

参加申込方法

必要事項をご記入の上、弊社営業担当者に直接お渡しいただくか、FAXにてお申込み下さい。

ササキデンタルアカデミー参加申込書			
フリガナ		ご記入日	年 月 日
お名前		ご勤務先名	
ご勤務先住所	(〒 -)		
E-MAIL			
TEL		FAX	

FAX送信先 **03-5730-7764**

※ 会場情報等をFAXにてご案内させていただきますので、必ずFAX番号をご記入下さい。

●ご記入いただきましたお申込み書の個人情報は「個人情報保護法」に基づき厳重に管理致します。

お振込み先 **三井住友銀行 豊橋支店 当座預金 口座番号 8503329** ササキ株式会社

お問合せ **ササキ株式会社 首都圏・神奈川ブロック 03-5730-7761** (担当:皆川)

弊社記入欄

支店 担当者コード 担当者名